

Luncheon Linguistics, 20/05/2026

2026（令和8）年5月20日

「博論を語学書として出版する：新刊紹介『韓国語連結語尾のトリセツ』」

発表者：黒島規史（熊本学園大学 外国語学部 准教授）

本発表では、発表者の博士論文『定形性の観点から見た現代朝鮮語の副詞節』を元に執筆した『韓国語連結語尾のトリセツ』の概要について述べた。本書の主要な内容である、主語の異同、連結語尾に接続する種々の要素（用言、TAM、助詞）、独立用法について具体例を挙げつつ説明した。博士論文においては定形性という概念を用いてこれらの現象を統一的に捉えようと試みたが、一般向けの語学書として執筆するにあたり、それぞれの連結語尾がつくるまとまりを「箱」に喩えて解説したことを紹介した。さらに、博士論文から追加した内容として、話し手の主観的な評価が反映された接続表現と、引用節のあとに「言う」相当の用言が省略されたように見える、引用省略構文について解説した。